
黄色い花の 咲く頃に

かりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黄色い花の 咲く頃に

【Nコード】

N1617BA

【作者名】

かりん

【あらすじ】

二人で種をまいたのだ。木枯らしぴーぷー吹きすさぶ、寒い河原のすみっこで―― 短編小説サイト【セカイのカタチ】からの転載です。

一話

二人で種をまいたのだ。

木枯らしぴーぷー吹きすさぶ、寒い河原のすみっこで。
二人でしゃがんで、丸っこくなつて。

それは草花の種だった。黄色い花が咲くらしい。

四角い紙袋の写真には、丸くひらいた黄金の花びら。タンポポみ
たいな花らしい。

隣で膝をかかえているのは、知りあつたばかりの女の子。苗字は、
知らない。

僕はその女の子のことを、アヤちゃんと呼んでいた。

僕らは毎日、種の様子を見に行った。芽が出ていないか、土が乾
いていないか。

うちから持ってきたペットボトルの水を、ドキドキしながら、ド
ポドボかけた。

早く大きくなあれ。

けれど、芽は、いつまでたっても出なかった。

「あ、ねえ、もしかしたら、ひりょうとかが、ひつよう?」

地面を覗いたアヤちゃんが、くるりと僕を振りむいた。膝をかか
えて、僕はこたえる。

「……知らない」

てか、「ひりょう」って、なんだ?

しょんぼりしてしまった女の子の手前、僕は口をとんがらせ、運
動靴の親指の先、膝下の土をツンツンつついた。

「コイツさあ、ほんとにサボってんじゃねえの」

わざと、乱暴な言葉で言っちゃった。自分のことだって、もちろ

ん「オレ」だ。絶対ここでしか言わないけれど。だって、かあさんの前でそんなこと言ったら、すぐにこっぴどく叱られる。でも、こはちよつとカッコつけとかなきやいけない、みたいな気がしたのだ。そう、男として！

僕は内緒で気合をいれた。

土手には、野良犬がうろろしている。怪しいおじさんだって、たまに出る。悪い奴が襲ってきたら、僕がこの手で、アヤちゃんを守ってやらなきゃいけないのだ。

そんなある日のことだった。

僕はぬかりなく警戒しつつ「なかなか出ないね……」とボヤいていた。そんな僕にアヤちゃんは、お姉さんぶって得意げに言った。

「だいじょうぶよ。春になったら、お花がさくわ」

僕はちよつと傷ついた。それじゃあまるで、僕がなんにも知らない子供みたいじゃないか。アヤちゃんだって、ママにきいてきたくせに。絶対そうに決まってる。

シャベルで掘って色が変わった黒土くろつちを、面白くない思いで、じつと見た。めんどくさい。花つてやつは、すぐには咲かないものらしい。その頃の僕らは知らなかったけれど。

アヤちゃんの言う「春」までは、とてつもなく長い時間だった。そう、この頃の一日はとても長かったのだ。次のジャンプの発売日だって、全然待ちきれなかったくらいだ。

アヤちゃんは、ちよこんとしやがみこみ、両手で膝をかかえている。

「きれいなお花がさくと、いいねえ。あ、ねえ、春になったら、コウヘイちゃんも——」

不機嫌な僕を気にしたらしく、につこり笑って振りむいた。

「アヤといっしょに、お花、見ようね」

「……約束だぞ」

僕はそっぽを向いて返事をした。だって、僕のプライドはズタズ

タなのだ。

「うん、約束。じゃあねえ、アヤと指きりげんまんっ！」

アヤちゃんが首をかしげて、僕の顔を覗きこんだ。ちいさい小指を立ててくる。

ふっくらした頬の線。冬の弱々しい太陽が、柔らかく包んで縁どった。目をそらしてしまったのは、きっと太陽がまぶしかったせいだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1617ba/>

黄色い花の 咲く頃に

2012年1月4日12時49分発行